

令和6年度事業計画

我が国では、近年、気候変動の影響とされる記録的な台風や想定を超える降雨が頻発し、これまで経験しなかった河川の氾濫や浸水による深刻な被害が繰り返し発生している。

河川ポンプ等の内水排除施設は人々の生命、財産を浸水被害から守る河川管理施設として重要な役割を担っているが、近年、老朽施設が急増し、厳しい財政状況下にあっても適切な維持管理・更新の実施が求められている。さらに、被災地域等では新設を求めるニーズも増加している。

一方、内水排除事業を担う施設管理者や関係民間企業においては熟練技術者不足、高齢化、人材確保難が深刻化し、事業体制の弱体化が懸念されている。

これら河川機械設備の諸課題に関し、社会資本審議会において令和4年に「河川機械設備のあり方について」が答申され、国土交通省では、システム全体の信頼性の確保、遠隔化・自動化、技術力の維持向上へ向けての施策が進められている。特に、施設老朽化による故障リスクに対応するための診断を基本とするメンテナンスサイクルの確立やマスプロダクツ化の技術開発などが喫緊の課題となっている。

一方、国土交通行政全般において、DX（デジタルトランスフォーメーション）が進展しており、河川ポンプ分野においても、これに対応しBIM/CIMをはじめ、合理的、効率的な事業体制構築が求められている。

令和6年度事業では、これらの状況に対して、施設管理者等と連携を図りつつ、激甚化する水害への対応や施設老朽化対策等の課題への取組、河川ポンプ分野のDX推進に向けた取り組みなど、技術の向上、人材育成及び現場・関係者の支援に向けた活動を進め、国内のポンプ施設の合理的な建設・維持管理の実現に貢献する。具体的には、以下のテーマに重点を置いて事業を実施する。

また、公益目的支出計画については引き続き着実な進捗を図る。

I. 河川ポンプ施設技術の調査研究及び普及

- (1) 新しい技術の開発・導入に関する検討を行う。
- (2) 河川ポンプ分野のDX推進に資する調査、研究開発を行う。
- (3) 現場のニーズに応えるための施設の建設・維持管理に関する調査を行う。

II. 河川ポンプ施設に関する技術者の養成

- (1) ポンプ施設管理技術者資格試験及び同技術者講習を実施するとともに、この技術者資格の活用を図る。また、本資格制度の今後の改善等について検討する。
- (2) ポンプ施設に関する技術講習会、現場研修会等の実施、技術図書や機関誌の発行により、関係技術の普及・向上を図る。

III. 河川ポンプ施設に関する広報活動等

- (1) 河川ポンプ施設に関する理解促進に資する技術資料、広報資料等を作成する。
- (2) インターネット等ICTを活用した広報活動を充実する。
- (3) ポンプ施設の建設・維持管理における諸課題について、協会内外の関係者と意見交換を行う。

1. 総会・理事会

1. 1 令和6年度定時総会

令和6年5月下旬 定時総会を開催

1. 2 理事会

令和6年度は次の3回を開催

令和6年度第1回

令和6年度定時総会議案の審議

令和6年度第2回（定時総会后）

役員選任の審議

令和6年度第3回

令和7年度事業計画、予算の審議

2. 運営委員会

- (1) 理事会に提出する議案の企画・立案
- (2) ポンプ施設管理技術者の資格制度の改善等の審議
- (3) 国際交流の推進に関する審議
- (4) その他協会運営に関する審議

3. 委員会

3. 1 広報研修委員会

- (1) 機関誌「ぽんぷ」の発行
「ぽんぷ」72号、73号を発行する。
- (2) ホームページの拡充
ホームページを活用し、行政機関や一般市民向けの河川ポンプ施設に関する広報の充実を図る。
- (3) 技術図書の刊行
「ポンプ施設の建設と管理」を刊行する。
「河川ポンプ施設総覧2025」を発刊する。
- (4) 国・地方公共団体等の講習会、研修への協力
国土交通大学校、地方整備局等が実施する技術研修へ講師を派遣する。
- (5) ポンプ施設技術講習会の実施
9月に全国5会場でポンプ施設技術講習会を実施する。
- (6) 技術研修会等の実施
技術講話会、技術研究発表会を開催する。

3. 2 技術開発委員会

- (1) 新しい技術の開発・導入に関する検討

新しい技術の開発・導入における取り組み改善のため、現場の開発ニーズや実施上の課題に関する検討、意見交換を行う。

- (2) 河川ポンプ分野のDX推進に資する調査、研究開発
ポンプ施設の機能確保、向上のためのICT、CIM等の活用等、河川ポンプ分野のDXに向けての調査、研究開発を行う。
- (3) 河川ポンプ施設に関するニーズに関する調査、課題解決に向けての検討
河川ポンプ施設の現場のニーズに関する調査を行い、諸課題解決に向けて検討、意見交換を行う。

3. 3 維持管理委員会

- (1) 操作技術向上検討会等の実施
排水機場の施設管理者及び操作員を対象とした操作技術向上検討会等を実施する。
- (2) ポンプ施設の運転操作等の課題に関する検討
ポンプ施設の機能確保、故障発生時の迅速な復旧のために、ポンプ施設の運転操作、点検・診断・修繕等にかかる課題について改善策の検討を行う。
- (3) 河川ポンプ施設に関するデータ管理に関する検討
既設ポンプ施設のデータ収集及び整理を行い、河川ポンプ総覧2025をとりまとめる。また、河川ポンプ分野のDXに向けてデータ管理の方策について検討する。

4. ポンプ施設管理技術者の試験及び講習の実施

- (1) 令和6年度ポンプ施設管理技術者資格試験の実施
令和6年10月27日(日)、全国6会場で実施する。
- (2) 令和6年度ポンプ施設管理技術者講習の実施
ポンプ施設管理技術者講習テキストを作成する。
令和6年5月に全国9会場でポンプ施設管理技術者講習を実施する。
- (3) ポンプ施設管理技術者に関する広報
ポンプ施設管理技術者制度の広報を行う。
- (4) 試験審査関係委員会
 - ① 試験委員会
令和6年度資格試験の試験問題原案の作成、監修、採点等を実施する。
 - ② 審査委員会
令和6年度資格試験の試験問題及び合格基準等についての審議を行う。

5. 受託業務

内水排除施設の建設技術、管理技術に関する調査研究及び開発、並びにその技術的基準の作成及び普及に関する受託業務を行う。